

広重 + 北斎

HIROSHIGE

HOKUSAI



「浮世絵の風景画を楽しむ 広重＋北斎」

会 期：令和8年10月22日(木)～令和9年1月17日(日)

10:00～17:00 (入館は16:30まで)

休 館 日：月曜日 (ただし、11月23日(月・祝)、1月11日(月・祝)は開館、

11月24日(火)、1月12日(火)は休館)、年末年始(12月29日(火)～1月3日(日))

観 覧 料：一般1,500(1,200)円、大高生1,000(800)円、中学生以下無料

* () 内は20名以上の団体料金

* 高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳をお持ちの方
ならびにその介護の方は各当日料金の半額

※着物で来場の観覧者は2割引 (複数の割引は併用できません)。

会 場：芦屋市立美術博物館 主 催：芦屋市立美術博物館

後 援：兵庫県教育委員会、公益財団法人兵庫県芸術文化協会、朝日新聞神戸総局、神戸新聞社、
NHK 神戸放送局、Kiss FM KOBE

特別協力：メ〜テレ (名古屋テレビ放送)

企画協力：青幻舎プロモーション

【開催趣旨】

江戸後期を代表する浮世絵師である葛飾北斎と歌川広重。北斎は圧倒的な画力と奇抜な発想、広重はしっとりした風情と豊かなストーリー性が大きな魅力です。今回の展覧会では、天候や季節、時間帯、人物などに応じて、北斎と広重が描き分けた日本の美しい風景を紹介します。

【本展の特徴】

1. 歌川広重『東海道五十三次之内』『名所江戸百景』葛飾北斎『富嶽三十六景』など浮世絵の人気シリーズの中から、選りすぐりの名作141点を展示。
2. 「天候と季節」「時間帯」「人物描写」「構図と仕掛け」「街道の楽しみ」「江戸名所」「諸国名所」「広重の富士」「広重の花鳥版画」の項目ごとに、広重・北斎の特徴と鑑賞のポイントを詳しく解説。「広重の絵には雨のシーンが多い」など、目から鱗の視点を提示。
3. 関連企画として、1階歴史資料展示室では『北斎漫画』と月岡芳年の浮世絵を展示。

出展作品 作品141点

主な出展作品

歌川広重『名所江戸百景』

歌川広重『東海道五十三次之内』

(保永堂版・行書版)

歌川広重『木曾海道六十九次之内』

歌川広重『富士三十六景』

歌川広重『忠臣蔵』

歌川広重『東都名所年中行事』

歌川広重『江戸高名会亭尽』

歌川広重『近江八景』

歌川広重『雪中鴛鴦図』

葛飾北斎『富嶽三十六景』

葛飾北斎『東海道五十三次』

葛飾北斎『阿蘭陀画鏡 江戸八景』

葛飾北斎『謎かけ戯画集』

葛飾北斎『鬼児島弥太郎 西法院赤坊主』

葛飾北斎『月に時鳥』

葛飾北斎『新板浮絵両国橋夕涼花火見物之図』

①



②





③



④



⑤



⑥



⑦

- ①歌川広重『名所江戸百景 深川洲崎十万坪』
- ②葛飾北斎『鬼児嶋弥太郎と西法院赤坊主』
- ③歌川広重『名所江戸百景 四ッ谷内藤新宿』
- ④歌川広重『東海道五拾三次之内 池鯉鮒 首夏馬市』
- ⑤歌川広重『名所江戸百景 浅草金亀山』
- ⑥歌川広重『名所江戸百景 猿わか町よるの景』
- ⑦葛飾北斎『富嶽三十六景 御厩河岸より両国橋夕陽見』

【展示構成】

1-1 広重：天候と季節	2-1 広重：街道の楽しみ	3-1 北斎：風景画
1-2 広重：時間帯	2-2 広重：江戸名所	3-2 北斎：人物画
1-3 広重：人物	2-3 広重：諸国名所	
1-4 広重：構図と仕掛け	2-4 広重：富士	
	2-5 広重：花鳥	

【関連イベント】

オープニングギャラリートーク＋講演会「北斎か、広重か。」

日 時：令和8年10月22日（木）

オープニングギャラリートーク：11:00～ 講演会：14:00～15:30

講 師：神谷浩（徳川美術館副館長兼学芸部長）★本展監修者

会 場：当館 講義室 定 員：60名 ※先着順 参加費：無料（要観覧券）

講演会「上方から見た江戸の浮世絵」

日 時：令和8年11月29日（日）14:00～15:30

講 師：北川博子（関西大学非常勤講師）

会 場：当館 講義室 定 員：60名 ※先着順 参加費：無料（要観覧券）

ホールコンサート「マリンバ&ピアノが誘う江戸の風景」

日 時：令和8年12月6日（日）14:00～15:15

奏 者：中治渚（マリンバ）、山口彩菜（ピアノ）

会 場：当館 1階エントランスホール 定 員：100名 参加費：無料（要観覧券）

令和8年度県内芸術家ロビーコンサート「縄稚誠ピアノコンサート」 ※主催者（公財）兵庫県芸術文化協会の助成による開催のため観覧券不要

日 時：令和9年1月16日（土）17:00～17:30

奏 者：縄稚誠（ピアノ）

会 場：当館 1階エントランスホール 定 員：100名 参加費：無料

学芸員によるギャラリートーク

日 時：令和8年12月12日（土）、令和9年1月9日（土） ※いずれも14:00～（30分程度）

講 師：当館学芸員

会 場：当館 展示室 参加費：無料（要観覧券）

●音楽イベント

芦屋市立美術博物館＋谷崎潤一郎記念館 連携企画

11月22日（日）「あしや 音の時間」 会 場：当館 1階エントランスホール、講義室 参加費：無料（要観覧券）

※関連イベント詳細はホームページにて、ご確認ください。

●お問い合わせ

芦屋市立美術博物館 〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町 12-25 FAX：0797-38-5434

企画内容に関して／担当学芸員 川原吉貴 TEL：0797-23-2666（学芸直通）

画像貸出等、広報について／総務課 乾紀子 TEL：0797-38-5432（代表）

◇ホームページ：<https://ashiya-museum.jp> ◇Facebook：芦屋市立美術博物館 ◇X：@ashiyabihaku ◇Instagram：ashiyacitymuseum

●アクセス

アクセス ・徒歩：阪神電車芦屋駅から南東へ徒歩約15分

・阪急バス：阪神芦屋駅・JR芦屋駅・阪急芦屋川駅から乗車、「緑町」停留所下車、徒歩3分

・併設駐車場：1時間無料